

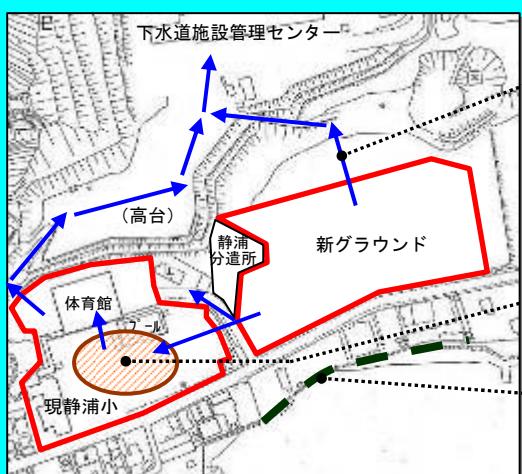
小中一貫校だより

地震・津波対策についてお答えします！

3月11日に発生した東日本大震災では、津波によって大きな被害が発生しました。静浦地区小中一貫校の計画地は海に近いことから、特に津波を心配する声が多く寄せられています。そこで、地震・津波対策に対する疑問についてお答えします。

疑問	回答
津波のこない高い場所に建てられないの？	一貫校には広い用地（約30,000m ² ）が必要ですが、校区内で現計画地と同じような広い場所を見つけることは困難であり、高台へ避難できる現計画地が最適です。
避難経路・避難場所はどうなっているの？	避難場所は海拔20mの下水道施設管理センターとし、そこまでの避難経路を複数確保します。校舎屋上にも避難できる計画とし、地域の方の避難にも対応します。
通学中に津波が来たら、避難できるのかしら・・・？	親子で避難場所を確認し、どこにいてもすぐに避難できるような「避難カード」の作成を、今後進めていきます。併せて、自主防災会やバス会社にも協力を依頼します。
大地震後の子どもたちの生活が心配です・・・。	校舎の上層階に食料・水・薬などの物資を備え、避難時でも生活が困ることがないような整備を検討しています。
用地に土を盛って高くしないの？	想定外の津波から命を守るには、いち早く高いところへ逃げることが一番であるため、高台への避難経路の確保や災害に強い校舎の建設計画を進めています。
今、通っている子どもたちが、心配なんです！	地震・津波は、いつくるかわかりません。一刻も早く子どもたちがより安全で快適な教育環境で生活できるよう、H26年4月の開校を目指しています。

子どもたちの安全確保のため、以下の津波対策を行います。



1. 高台への避難経路の整備・確保

更なる避難経路の確保を検討

2. 避難訓練の強化

3. 災害に強い校舎造り

鉄筋コンクリート造、高層化、備蓄など

※ 防潮堤の延長整備計画

県事業のため早期実現に向けた要望

平成 26 年 4 月開校に向けた施設整備が始まります！

新 大グラウンド

現在の静浦小学校の南側用地（約 16,288 m²）を昨年度取得しました。

今年度 8~9 月頃から順次、工事に入ります。平成 24 年秋頃の使用開始を目指します。

＜主な施設＞

- ・ 200m トラック
- ・ 野球場（野球用バックネット）
- ・ テニスコート 2 面
- ・ 駐車場 など



新 校舎

設計業者は、公募型プロポーザル方式（技術力や実績等を競うもの）により、20 社の中から「株式会社久米設計」が選ばれました。今年度末までに基本設計・実施設計業務を終えて、来年度から工事に着手する予定です。



※ 設計がある程度進んだ段階で、イメージ図等を公開予定です。

全体スケジュール



平成 26 年 4 月開校

あと 985 日

一貫校での子どもたちの生活をイメージして紹介します

小中一貫校 5年生佑樹君の1日 (シリーズ 1)

「おはよう！」佑樹君が元気よく挨拶すると、1~9年生の子が挨拶をかえします。一貫校では全員が同じ玄関から登校します。

登校して真っ先に向かうのは、玄関前の明るくて開放感あふれるメディアセンター。ここには、たくさんの本やパソコンが並んでいます。お気に入りの椅子に座って本を読むのが佑樹君の楽しみの1つです。すると、7年生の将大君がきて「今日は、5~7年生はランチルーム給食だよ！」と話しかけてきました。明るく広い部屋から美しく広がる静浦の海を見て、友達と食べる給食が大好きなのです。

しばらく給食の話題で盛り上がった後、佑樹君は教室に向かいました。教室は、木材を使ったあたたかみのある雰囲気で、落ち着いて勉強できます。2時間目は社会です。佑樹君は、担任の先生の授業も大好きですが、8・9年生担当の先生が教えてくれる社会や理科も大好きです。より専門的に教えてくれるからです。大きなスクリーンに資料を映して、5年生のぼくたちにもわかりやすいように教えてくれます。ますます（勉強をがんばろう）と思うようになりました。

楽しみにしていた給食の後はロング昼休み。今日は1~9年生と一緒に遊びます。小さい子と遊ぶのは気をつかうけど、9年生が上手にリードしてくれます。佑樹君は（ぼくも9年生になったら、あんな優しいお兄さんになりたいな）と思いました。

放課後は5年生だけ小中一貫校ならではの部活動があります。佑樹君は将大君と一緒に野球部に入っています。まだ5年生のため回数は少ないですが、毎回楽しみにしています。今日は8年生に教えてもらながら、バッティング練習をしました。練習後、（9年生になったら中体連で優勝するぞ！）そう思いながら下校しました。

